

「世界へ広がる日本文化」～いけばなから IKEBANA ～

2018年9月9日（日）実施 JGA 第一支部研修報告

9月9日（日）東京都港区にて、草月流師範会理事でJGA正会員でもある平塚春子（雅号は恵春）氏のご協力のもといけばな研修を行い、18名（正会員14名、非会員1名、委員3名）の方が参加し熱心に講師のお話に耳を傾けまたデモンストレーションを堪能しました。本日の研修ではまずいけばなの宗教的な目的から装飾目的への変遷やスタイルの変遷



など歴史のお話をお聞きしました。またガイドならではの視点でご説明くださった Flower Arrangement と IKEBANA の違いなどは今後のガイディングに役立つこと間違いなしです。具体的にはフラワーアレンジメントは足し算であり、咲いている花でどんどんスペースを埋めていく花を見せるためのもの。一方いけばなは引き算で、花だけではなく枝や葉などの線を大切に、余分なものをそぎ落としていくことで空間の美しさを作り出す。また花はつぼみなどを用いて花の移り変わりなどを楽しむなど。いかにも日本人らしい美的感覚が反映されているアートではないでしょうか。



座学で学んだ後はお待ちかねのデモンストレーション。平塚講師の手によりあっという間に数々の作品が仕上げられていく様は見ていてとても楽しく、改めていけばなの芸術的価値の高さを感じるひとときでした。（左：紅スモモ、カーネーション、中：風船唐綿、ニューサイラン、アルストロメリア、右：紅スモモ、ピンポンマム）。

先生の見事なお手並みを拝見したあとは受講者のチャレンジ。平塚講師も一目でわかる経験者の方からまるっきりの初心者まで思い思いの作品を作りましたが、同じ材料を使ったのに全く違う仕上がりになるとういけばなの楽しみも発見しました。講義の途中から様々な質問が飛び出し、受講生のみなさまの関心の高さや、普段からいけばなの説明を苦戦されている様子も感じられましたが、きっと今回の研修が今後のガイディングのお役に立つことでしょう。

